

中洲小学校コミュニティ・スクール通信

第2号

令和6年12月15日

中洲小学校学校運営協議会 発行

コミュニティ・スクールの 活動報告(6月～11月まで)

1 交流教育部会 「かりん」支援

かりんの収穫では、6年生が1年生の収穫をお手伝いしていました。また、中洲小の収穫量が少なかったため、6年生は「自分たちの手で、かりんをもっと手に入れよう」と、市役所に電話したり、南中に手紙を出したりしていました。

かりん砂糖漬けでは、1, 2時間目に部会メンバーが、かりんの実を1/6に切り分け、芯を取りのぞくという前半の作業を行いました。3, 4時間目に6年生が、さらに薄く切って砂糖をまぶして樽に入れる作業をしました。

11/1 かりん収穫(1,6年)

11/14 かりん砂糖漬け(6年)支援



2 施設支援部会 PTA 作業応援の他、学校園整備や宮川土手の草刈り

4月;学校ふれあい農園の「春耕」 5月;春のPTA作業(校舎周辺草刈り、体育館フックス塗布等)

7月;宮川土手の草刈り 9月;秋のPTA作業(校舎周辺草刈り、側溝清掃、トイレ掃除等)

3 学習支援部会 地域探検支援 「とちの木ひろば」サークルとの交流支援

7月20日(土) 2年生「生活科」神宮寺探検

「…足ゆとすわ大社とすわ市はくぶつかんに行きました。…」 「…足ゆに入りました。はだがつるつるになりました。…」 「…はくぶつかんの入口にフィギュアみたいなのがあり、しってるアニメでびっくりしました。…」 (児童感想より)



7月、10月、11月 2年生「生活科」とちの木ひろばサークルと3回の交流



4 PC支援部会 11/22 地域公開講座「プログラミング講座」企画・児童指導



参加した児童は、とても楽しく学べたようで、中には、帰宅後、さっそく自宅のパソコンで、同じアプリを見つけ、楽しみながら繰り返し復習していた子どももいたようです。

5 安全教育部会 1年生下校支援 他

・キョロブラ活動の新しい取組「段階的自立下校」2年目も順調に運営できています。

「段階的自立下校」とは・・・「子どもの安全確保」と「子どもの自立」の両立を図る取り組み

4月～6月 「安全下校指導強化期間」・・・毎日、引率下校（キョロブラは、引率指導）

7月～10月 「自立下校準備期間」・・・引率下校と自立下校（キョロブラは、辻立ち見守り）

11月～3月 「全日自立下校期間」・・・毎日、自立下校（キョロブラは、辻立ち見守り）



・新たに今年から、キョロブラ活動に、「保護者（PTA）」も参加しています。
・安全教育部会による、これら新たな取り組みは、学校の先生方から「地域による教育活動」として高評価、感謝されています。

子ども達にとって、①「自分たちの力で家に帰れる。」という自信をはぐくみ、②キョロブラさんから「任された。」という自立心を芽生えさせてもらっていて、有意義な教育活動になっている。

6 ものづくり部会 中洲クラブの活動報告（「中洲クラブだより」より転載）

7月20日（土）中洲クラブの畑にてジャガイモ・とうもろこし・枝豆の収穫

始めに枝豆を収穫しました。枝から一つひとつ丁寧に取っていきましました。一つの枝にたくさんの枝豆が付いています。スタッフの皆さんが取りやすいように枝を小さく切ってくださったので、とても取りやすかったです。



9/21（土）稲刈り

やや涼しい好天の中、総勢 30 名程が集まりました。途中で小雨が降ってくるアクシデントもありつつ、最後まで手作業で終えることができました。



10月5日(土)サツマイモ収穫、焼き芋会

はじめに、平林光典会長さんからは安全に楽しく中洲クラブを行うための心構えを教えてくださいました。

次に、後町さんから手順の説明を受けました。どれくらいサツマイモが育っているか掘ってみるまで分からないとお話をされていて、子どもたちも大人も早く掘って確かめたい、大きく育ったサツマイモが見たい。そんな気持ちだったのではないのでしょうか。

収穫までに後町さんをはじめ、地域の中洲クラブのメンバーさんが、畑の手入れをし、また、毎日欠かさずに朝晩の水くれをしてくださったことに感謝です。



7 コーディネーター

地区公民館との協働 文化祭こどもまつり

今年の「こどもまつり」には、中洲小5年3組のみなさんが、「総合学習」の活動の一つとして、2つのボランティア活動を引き受けてくれました。1つ目は、「輪投げ・的当てゲームの景品の製作と提供」、2つ目は、「当日の輪投げ・的当てゲーム運営の手伝い」です。このボランティアのおかげで、賑やかな「こどもまつり」となりました。



中洲地区社協との協働・・・高齢者と小中学生との手紙交流



長野日報 12/2 付

三年目を迎えた「高齢者と小中学生との手紙交流」は、例年の通り、「中洲地区社協浅尾会長が依頼提案し、それを児童会交流委員会で話し合い児童自ら実施を決定する。」という、あくまで子どもの主体性を尊重して実施するという方法で行いました。

その結果、これまでの4～6年生に加えて、「**3年生も手紙を書く**」こと、「**手紙の他に人権の花活動で作った花の葉もプレゼントする**」ことも、子ども達自身で決めてくれました。子ども達の地域のお年寄りに対する優しい心遣いがあふれる活動になりました。

PTA親子文庫との協働 「朝の読み聞かせ活動」5, 6, 7, 9, 10, 11月実施



・学校から…「多くの方に読み聞かせていただくことで、読まれる本の幅が広がり、子ども達も大変楽しみにしています。」「高学年の子ども達にとっても楽しみな時間になっています。」と大変喜ばれています。

「多様性」が求められるこれからの時代、様々な立場の方が選ぶ、多様な本との出会いが望まれます。例えば、「**今の子どもたちに昔話の本なんか**」ではなく「**今の子どもたちにこそ昔話の本**」が求められているのです。

【報告】南部地区小中一貫教育学校の基本構想の取りまとめについて

学校運営協議会会長： 原 基彰

南部地区に新しい小中一貫教育学校を建設するための基本構想を作成するために、中洲小学校の学校運営協議会の代表として、学校再編推進委員会に参加してきました。

地域の皆さんにもこの計画を理解していただき、今後新しい学校ができることで、この地域に住みたいと思ってもらえるような地域づくりにご協力いただければ幸いです。

＜南部地区小中一貫教育学校3つのコンセプト＞

- ・誰もが学びやすく、やりたいことを実現できる学校
- ・多様性を認め合い、協働して学びあえる学校
- ・地域とつながり、地域に根差した学びを大切にする学校

＜基本構想の制定に向けた活動＞

推進委員会に参加した際には、「**コロナ禍を経て対面教育の重要性**」「**地域への愛着を育むことの大切さ**」「**共働き世代が増える中での学童保育の充実**」「**通学時の安全確保**」といった課題を提起しました。三輪教育長をはじめ教育委員会に真摯に受け止めていただき、基本構想に反映していただきました。

＜今後について＞

学校の構造や教室の配置、各階の基本的なレイアウトを示す「基本計画・基本設計」の策定が予定されています。これにより、学校の具体的な形が見えてくる段階となります。地域の皆さんも、どんな学校になるのか、どのように関わっていきたいかを考え、積極的に関わっていただければ幸いです。

学校運営協議会の報告

第2回 8/22 主な協議内容

- ア 各部・コーディネーター活動報告
- イ 防災についての意見交換（熟議）

第3回 12/5 主な協議内容

- ア 各部・コーディネーター活動報告
- イ 中洲教育を考える会について

第2回の学校運営協議会では、現在の中洲小学校の防災計画を基に「防災時の連絡のあり方」「学校や地区などとの効率的な情報共有の仕方」等について熟議をし、様々な立場からのご意見を伺いました。

また、第3回の学校運営委員会でも各部の報告や今後の予定を全体で共有しました。様々な場面で委員のみなさんに学校運営に協力していただいています。ありがとうございます。

予 告

地域に長年住み続け、中洲を愛するみなさん

「中洲教育を考える会」（2月19日水曜日）に参加して、

学校への地域の思いを直接届けてみませんか？

詳細は後日、回覧板にて